パスキーの登録方法（Mac）

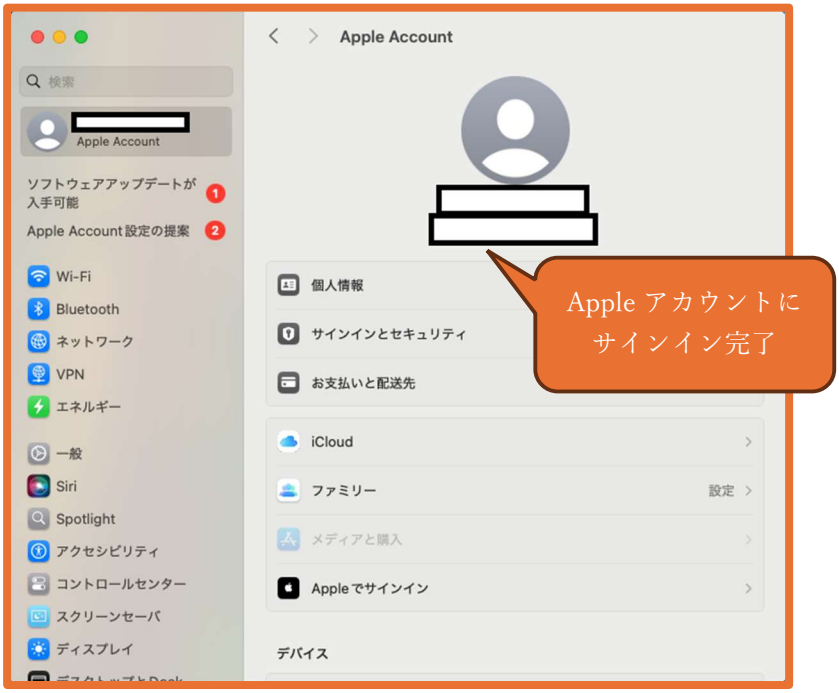
事前準備

パスキーの登録を行いたい Mac 端末を用意する。
macOS が 14 未満の場合は、アップデートする。
個人の Apple アカウントにサインインする。
「iCloud キーチェーン」を「オン」にする。
「パスワードとパスキーを自動入力」を「オン」にする（推奨）

【Apple アカウントにサインインする】
パスキーを登録する際の Apple アカウントは、**個人の Apple アカウントです。**
下記の手順①で、既に【大学のメールアカウント（～@iawte-u.ac.jp）で取得した Apple アカウント】が表示されている場合は、一度サインアウトし、個人の Apple アカウントに切り替えてください。




サインイン
Macのパスワードを入力
このMacのロック解除に使用するパスワードは、保存済パスワードおよびiCloudに保存されたその他の機密データへのアクセスにも使用されます。
キャンセル
続ける
④Mac 端末の
パスワードを入力
⑤「続ける」を
クリック


Apple Account
ソフトウェアアップデートが入手可能
Apple Account設定の提案
Wi-Fi
Bluetooth
ネットワーク
VPN
エネルギー
一般
Siri
Spotlight
アクセシビリティ
コントロールセンター
スクリーンセーバ
ディスプレイ
個人情報
サインインとセキュリティ
お支払いと配送先
iCloud
ファミリー
設定
メディアと購入
Appleでサインイン
デバイス
Apple アカウントに
サインイン完了

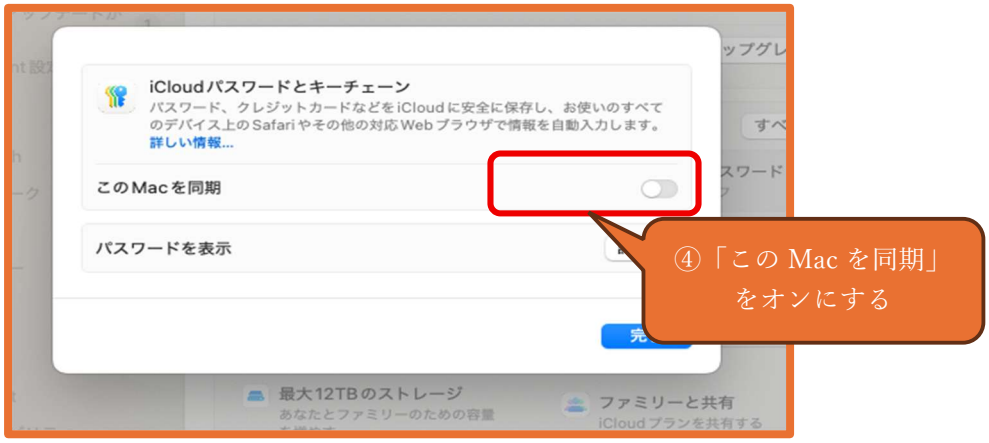
【iCloud キーチェーンを「オン」にする】

Mac 端末のシステム設定＞Apple アカウント＞iCloud へアクセス。

「iCloud パスワードとキーチェーン」で「この iPhone を同期」を「オン」にする。



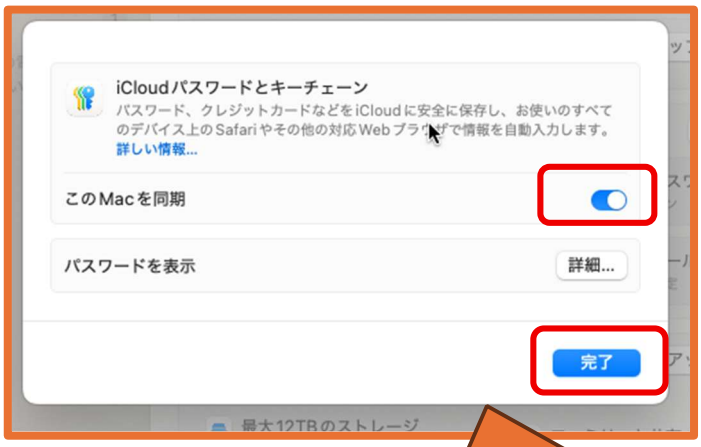




※既に同期を行っている場合は、この確認手順は終了です。次へ進んでください。


“iCloudキーチェーン”は、エンドツーエンドの暗号化を使用します
このデバイスでエンドツーエンドの暗号化を使用するには、Apple Accountの設定をアップデートする必要があります。
キャンセル
続ける
⑤この画面が表示された場合は「続ける」をクリック


Macのパスワードを入力
このMacのロック解除に使用するパスワードは、保存済みパスワードおよびiCloudに保存されたその他の機密データへのアクセスにも使用されます。
パスワード
キャンセル
続ける
⑥ Mac 端末のパスワードを入力
⑦「続ける」をクリック

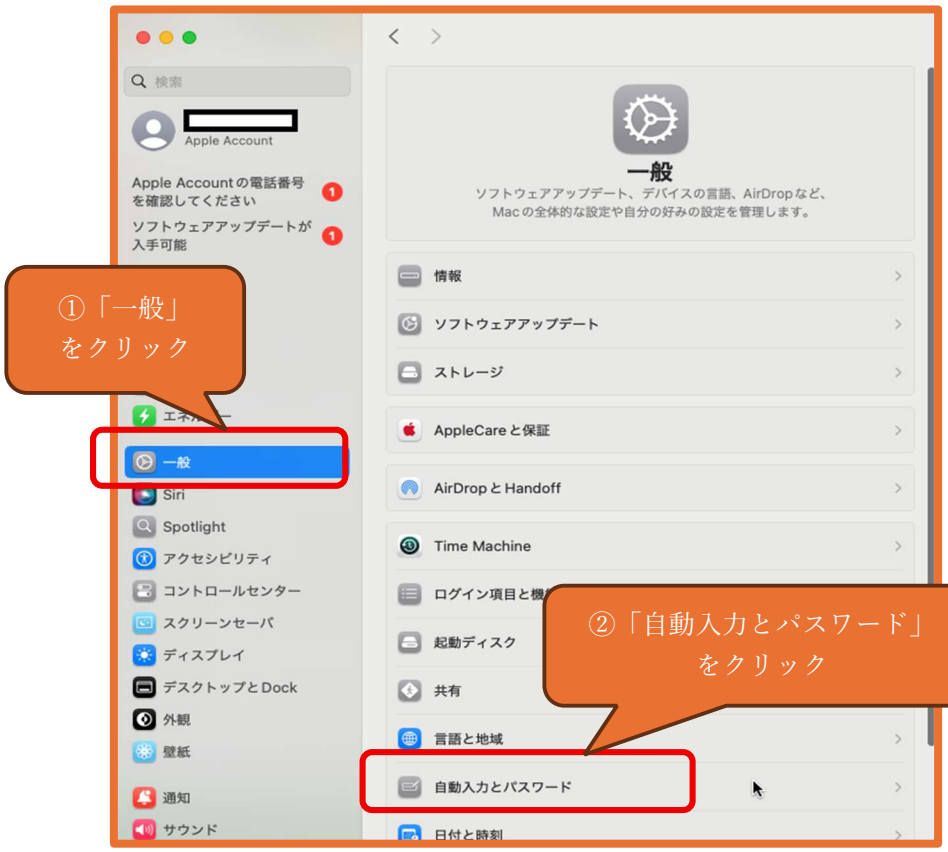

iCloudパスワードとキーチェーン
パスワード、クレジットカードなどをiCloudに安全に保存し、お使いのすべてのデバイス上のSafariやその他の対応Webブラウザで情報を自動入力します。
詳しい情報...
このMacを同期
パスワードを表示
詳細...
完了
⑧「この Mac を同期」がオンになったことを確認し、「完了」をクリック

【パスワードとパスキーの自動入力を「オン」にする】

パスキー登録自体に必須ではありませんが、登録したパスキーの自動入力に必要になるため、「オン」にしておくことを推奨します。

（※本手順書では、「オン」である状態で説明しています）

設定＞一般＞自動入力とパスワード へアクセスする。





自動入力をオンにし、「自動入力の取得元」で「パスワード」をオンにします。

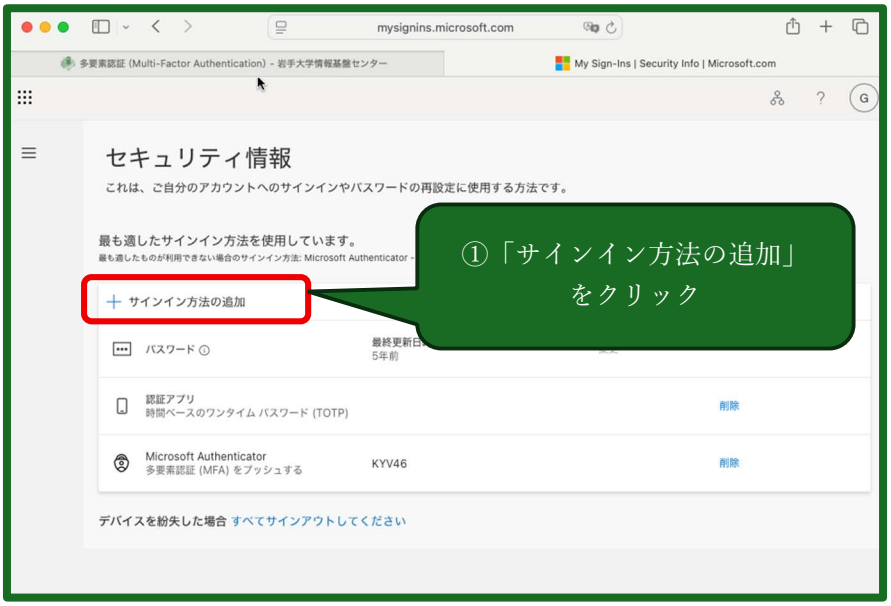
ここまで確認を終えたら、パスキーの登録に進んでください。

パスキーを登録する

1. 下記の URL をクリックすると、ブラウザが起動しサインイン画面が表示されますので、**「パスキーを登録したい岩手大学 Microsoft アカウント（～@iwate-u.ac.jp）」**でサインインし、セキュリティ情報画面を開きます
   https://mysignins.microsoft.com/security-info

   多要素認証の認証画面が表示されたら、認証を行ってください
   （多要素認証の認証方法はこちらを参照してください→多要素認証方法）

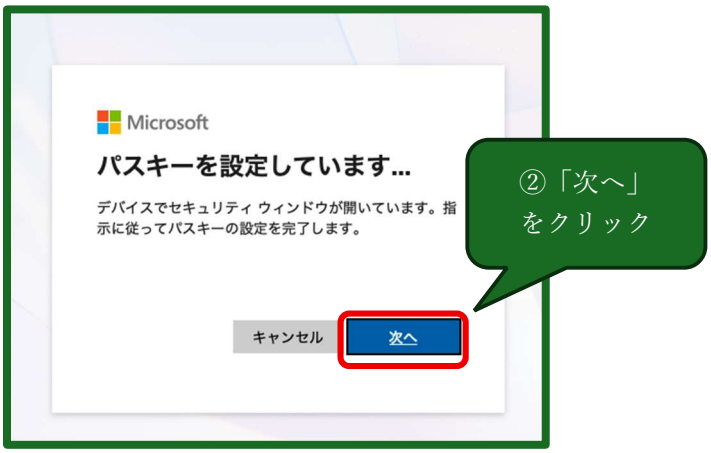
2. 「サインイン方法の追加」をクリックし、「パスキー」をタップする





3. 「Sign in faster with your face fingerprint or PIN」ウィンドウで「**次へ**」をクリック





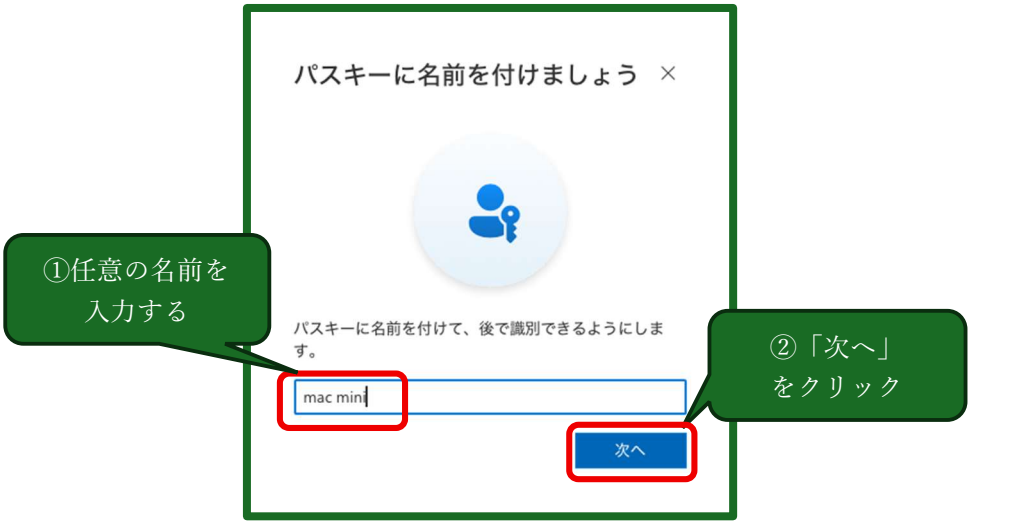




4. パスキーに名前をつけて、パスキーを作成する

パスキーは、パソコン A、パソコン B、スマホ、など、複数の端末ごとに登録することができるため、判別しやすい名前をつけましょう。

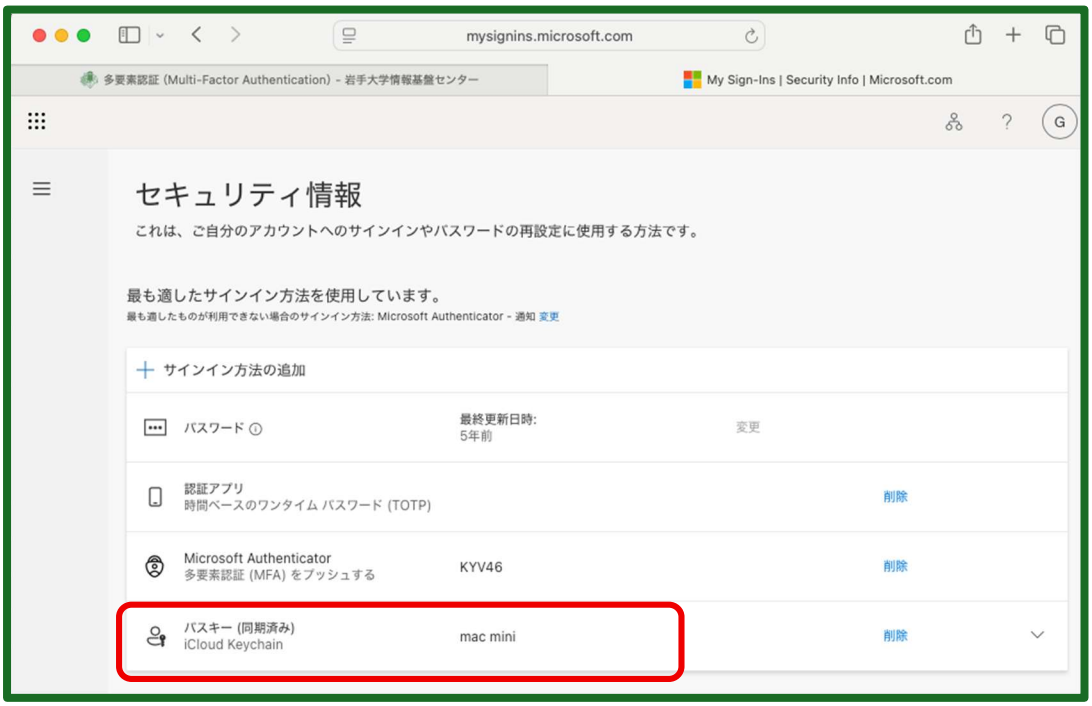
（例：コンピュータ名、デバイスの種類、「mac ○○」など





5. パスキーが登録されたことを確認する

「セキュリティ情報」に「パスキー（同期済み）」という項目が追加され、パスキーの作成で入力した名前が表示されているのを確認できたら設定完了。



パスキーを使用してサインインできることを確認する

パスキーの登録後、アカウントから一度サインアウトし、パスキーの認証によってサインインできることを確認してください。

①アカウントからサインアウトし、ブラウザを閉じます



②改めてブラウザを起動し、下記の URL にアクセスします。
「https://mysignins.microsoft.com/security-info」
先ほどパスキーを登録したアカウント情報を入力し、サインインを行ってください。
※Authenticator による認証を求められた場合は、「Microsoft Authenticator アプリを現在使用できません」をクリックしてください。





サインインが完了すれば、確認は終了です。以降は、キーチェーンに保存したパスキーを利用して多要素認証を行うことが可能です